十八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵、税 金十五錢
□一部 賣 金三錢
□廣告料 一行 金六十錢
□雜報 欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八五五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
編輯兼發行兼印刷人 森合英

あられふり鹿島の
神を祈りつゝすめ
らみくさに吾は來
にしを（防人の歌）

闕伽井嵐

理論を尊重せよ

（二）　杏仁生

中小商工業者は我が國人口編成の上可成の割合を占めて居るもの丶如くであるがこの尨大な層を再組織せずしては急を要する高度國防國家の建設は到底不可能である。然るに商工業結合の從來の指導者中に商工業組合は歷史的必然的過程としての經濟再編の一分野として理解さるべきであるのに、中小商工業層そのまゝのものを新組織中に折込んで行くため單に之れを組織化するもの丶如く解する者が多かつたのである。尤もそれも段階的意味に於て已むを得なかつたことも考へらる丶が、今日に於てはすでに清算さるべきものである。もはや人口の再編成は現實の問題となつて來つ丶あるやうに思はれる

最も整理革新を要請さる丶商工業層の指導的な主脳者達は問題が彌縫されがたき處まで發展して來ただけに、確たる理念を要求さる丶こと今日より急なるときはないと愚考するが故に、敢て國民經濟を見透し得るだけの理論の把握を要求するものである、而してか丶る疑念なき腹の底からの理論的把握はあり來りの形而上的なものだけでは信念がぐらつき易きものである限り尙更のことであらう。完

原稿募集

本紙第一面の各種原稿を募集する、奮つて御投稿下さい

內鮮協和事業

一億一心協和愛國運動

（朝鮮出身）　濱田芳男

（二）

又大正八年八月十九日の官制改革の御詔勅にも

「其ノ民衆ヲ愛撫スルコト一仁視同朕ヵ臣民トシテ秋毫ノ差違アルコトナク」

と仰せられたのを拜察しても我等國民は一視同仁の大御心を奉體して邁進せねばならぬ。しかしこの大御心の奉體は云ひ易くしてなか〳〵行ひ難い。長い間朝鮮と內地との間に存在する同祖同根論の如きこれを學者の論究に任せるとしても民族風土人情言語歷史等の過去に嚴存した事實上の相違は何人と雖否み難い所である。日韓合併以來三十有餘年を經て來た今日であるそして今や我が祖國日本は未曾有の難局に遭遇してゐる。外敵を防ぐには國民同志の和合が是非共必要である。一億臣民は協力一致以て祖國の爲に盡し一人殘らず忠良なる臣民となつて一日も早く陛下の大御心を安んじ奉らねばならぬ時である、國威を世界に輝かし東洋民族の盟主たる本分を發揮せねばならぬ秋である故に全國民の略三分の一を占める朝鮮民衆は一歩〳〵內地に歩みより國語と日本精神を學び我が國體を良く認識しまた內地の七千萬人の先輩諸氏ほ香山光郎氏が「人の心を和げるものは人情だ。百の法令や說法よりも一滴の涙だ。涙はよく凶惡な人の心さへも和げる力を持つ。朝鮮の民心は威を以て壓へる時期はとうに過ぎてゐる。今では祖國日本より離れよう等と夢想してゐるものは一人も無い筈である。唯我々は本當に日本人になれるのかな本當に我々を尋常一樣の日本人にしてくれる氣かなと不安がつてゐる丈であるか丶る不安を一掃するには或は政治的立法的手段も必要であるかも知れぬが然し要は（あなたとわたくし）とが涙で抱き合ふか否かに掛つてゐると思ふ」と云ひ又「貴兄が一人の朝鮮人を……學生でも好い勞働者でも好い、又は旅行者も好い……兄弟の如く姉妹の如く愛して呉れたら愛される彼は貴兄を通して國語と日本精神を學び貴兄を通して日本を愛し總て日本的なものを愛して漸次自分のものとする事が出來よう。そして彼をして御國の爲に生命を捧げしめるのであらう貴兄は陛下の爲に一人の戰士を得た事となる否一人の戰士では無い彼の家族や兄弟や子孫迄も獲得した事となる同時に彼に最上の幸福を與へた事となる。何と働き甲斐のある仕事では無いだらうか。貴兄が若し一人の優秀な學生をば愛に依つて獲得したとすればそれは單に一戰士丈ではない陛下の爲一將軍を求めた事となる」と云つて「百萬の內地人が義勇兵になつて朝鮮人一人を兄弟の如く姉妹の如く愛して呉れないか」といつてゐるが如き理解と同情とを以て下さるならば日鮮融和は期して待つべきものがあると思ふ。

母君

（平）　阿部光子

夕べ靜かに眠り居る
我が母君のやすらけき
慈愛にみちしそのみ顏
はらからをあまた育てゝ
母君は老いませり
嵐の浮世を子の爲に
唯一途に生き貫きし
あはれ雄々しき母君よ

心

うちとけぬ人の心のつめたさを
己が心のたらざるを
思へど胸はいえやまず
落ちる涙の冷たさよ

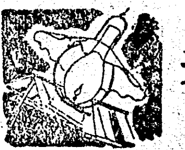
信仰と批判

（一）　山名隆之

達磨無髯といふ話がある。或庵禪師が或時次のやうなことを云つた。「西天胡子、因甚無髯。」達磨といへばわれわれは髯むしやの爺と思ふのであるが、或庵には其髯が見えないといふ。信仰の力の如何に偉大なるかを物語つてゐるものであらう

最近右のやうな話を面白いと思つて讀んでゐる中に、ふととりとめもない事が頭を掠めたのであつた。――信仰に對する批判といふ問題、これは可なり重要な問題ではないであらうか、と、そしてこれに就いていろ〳〵なことが次から次へと考へなされて行つたのである。但しこの妄想は哲學的ではない。私は哲學に就いてはよくわからない。この妄想は歷史學的なのである。

人が相手に對して批評眼の働くのは兩者が敵味方と分れた時、或はそれほどでなくとも間が疎隔した場合に限る。兩者一體たるが如き親しい間柄に於ては批評眼は起らないものである。これはわれ〳〵が日常、親子兄弟夫婦等の間柄に於いて經驗してゐることである。「人が相手に對して」といふことは、又、「人が對象に對して」といふことも出來るであらうこゝに於いて、史的對象への客觀的考察の中で、その「信仰的面の歷史」と「批判的面の歷史」といふ二つの面を見ることが出來る』



異人劍法【58】

（禁無斷轉載上演上映）

車谷弘
下山望東畫

渦潮（九）

『お前は何にも知らないとお思ひだらうが、お前が甲州で何をしてゐたか、私しやアちやんと分つてゐます。でも、お前も堅氣の商人になつてくれて、稼業にはげんでくれるのをどんなに心ひそかに喜んでゐたか分りやアしない。それなのに、それなのに……』

お作は嗚咽をかみこらへるのだ

母親の一言一句は、針のやうに巳之助の胸を刺す。

巳之助はうつむいて

『すみませんお母さん御心配をかけるばかりで……』

と、巳之助も涙を拭いて、

『しかしお母さん、持つて生れた性分は、自分でも、どうにもなりやアいたしません。巳之助これでも、曲つた事は大嫌ひでございます。大浦一家の、やり口を見かねて、確に喧嘩はしましたがお母さん、出來てしまつた事ア仕方がねえ、どうか叱らないでおくんなさい、これもはづみで、とんでもない事をしてしまつたと、巳之の心はゐても立つてもゐられねえんでござんす』

『……』

『何しろ相手が、執念深え大浦一家の事だから、私の住居つきとめりやア、それこそきつと仕返しに、やつてくるに違えねえとお母さん、岩太郎はこはくはないがお年をとつたお母さんに歎きをかけるのが空恐ろしく、實ア考へに考へました末、一時古巣の甲州へ身をかくさうと思ひましたので……。なアに、そう何もかもお母さんが御存知でゐらつしやりやア、今度こそ御安心のゆくやうにひと先づほとぼりのさめるのを待ち乍ら、甲州の親分にも、立派に盃をかへしまして、まつたくの堅氣になつて、ぢきに歸つて參ります』

『巳之助』

とお作はホッと吐息をついて、

『よく云つておくれた。よく決心してくれました。お前がやくざの道に踏み込むなんて、魔がさしたとしか思へない私だものどんなにうれしいかしれやアしない。お母さんはお前がどんなに強くなつたつて、ちよつとも嬉しかアないんだよ、私の傍にゐてくれさへすればいつまでもゐてくれさへすれば』

『お母さん』

『巳之』

きつと顔を見合せたが、また巳之助はうつむいて、

『もう一つの心がゝり……』

『え丶』

『あの奧の……』

と聲をひそめて、

『初音さんの事……』

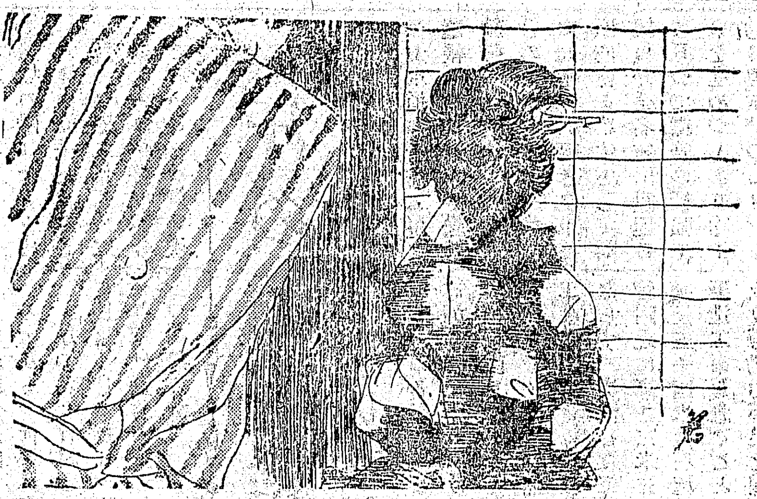
『心配おしでない巳之私がきつと預かつて、訪ねる人を探しあてるまでは、御面倒はみるつもり……』

『有難うございますお母さん、くはしい譯は存じませんが、いろ〳〵とこみ入つた事情もあるらしい不仕合せな旅のお方。どうかくれ〴〵もよろしくお願ひ申します』

『い丶とも巳之や、そしてお前は……』

『今夜のうちにも、旅立ちたいと思ひますが……』

するとその時、奧の間から、初音のかすかに、しのび泣く聲がもれて來た。



產婦人科 外科一般 花柳病科
小名濱町小學校前 電四五
黑澤醫院
醫學士 黑澤廣
【見習看護婦募集】

興亞の晴れ着 國民服
洋服は高島屋
平市二丁目通 電話三八六番

わでん
茶ぐわし
平市新田町
電話三三番

ミクローゼ
星チエーンストア支部
發育する際に死滅し易い酵母と異り・ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは・生存力が極めて强く・服用後・胃腸內でどんどん增殖し・强力な消化酵素を產生する特徴を有して居ります。――故に・効果は持續的・且つ强力であります。何よりの證據は・食慾が增し・快い便通が得られることです。
郵券十錢で・五日分六十錠の試服藥を急送す
東京・五反田 星製藥株式會社
全國各地藥店に有り

專門藥 りん病 としけ
岩里 別府淋藥 一週間分
痛みある病、熱ある病に…
岩里 別府散 七包入 五十錢 十五包入 壹圓
製藥本舖 別府市岩里天然堂
代理店 阿康藥局
平市古鍛冶町 電話四四 振替東京三〇〇五六番

外科 內科 肛門病科 皮膚科 泌尿科 生殖器科
看護婦及見習看護婦募集
白土醫院
平市鎌田町 電二七九

口腔外科 齒科一般
小名濱町本町
鈴木齒科醫院
院長 鈴木正

外科 內臓整形科 內科 皮膚科 花柳病科
小名濱町仲町
石井醫院
電一八番

國民精神總動員
日本國民必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報 一部十錢
お取次致して居ります
平三 西村屋藥局 電三

附屬產院 新設（姙產婦入院隨意）
產科 婦人科
木村病院
平市新川町 電二六四

內科 小兒科 專門
平市六丁目交番東隣
石坂醫院
醫學士 石坂銓

耳鼻咽喉科專門
入院隨意 病室完備
大和田醫院
平市南町 電話一七〇番

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動產の移動
土木建築請負
鐵道船舶仲仕請負
北村芳藏
小名濱町榮町築港地内
御希望の方は一應御相談下さい

入院隨時
エッキス光線科 外科 內臓外科
安齋醫院
院長 安齋徹
平市田町 電五四七

時局の生んだ新案特許 日の丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法…半紙節約ノ目的ニテ墨デ書イテ濡雑巾ニテ拭ツテ置ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案 メモ板 第二七九〇四號 野球ベール 第一七九七三號 興亞ノート 第二四七九八號
專賣特許 興亞厚紙 第（イ）一七三六〇號 第（ロ）一七三六一號
合資會社 興亞特許商事
同工場 月見町三三

小兒科 內科
入院隨時
酒井醫院
平市南町（電五五番）
醫學博士 酒井保

石炭販賣
迅速、誠實
多少ニ拘ラズ御用命願ヒマス
平市白銀町（救世園跡）
磐新石炭店
蓮沼龍輔
電七八六・七八七番

御料理 一の井
平三田小路
電一六七

平 四倉
往復券2割引40錢
▽新舞子 約二丁
▽仁井田浦 約二丁
▽四倉海岸 約一丁
▽波立藥師 約八丁
▽鰐ヶ淵 約八丁
團体は特に御相談に應じます
合名會社 平・四倉乘合自動車 電話三七〇

精神病科 脳脊髓病科 神經病科
（郡山驛より約三丁 安積中學より五丁 郡山市外大槻村針生）（電九二五）
福島縣立代用精神病院 內務省指定
郡山脳病院
院長醫學博士 金磯五郎

外科 整形 胃腸 性病
內臓外科 脳脊髓病科 外科
整形外科 レントゲン科 理學療法科
內科 胃腸病科 肛門病科
花柳病科 皮膚科 泌尿器病科
松村醫院
平市南町 電一〇七
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

乘合 貸切 馬車御案內
乘合區間平、夏井間、平發午前七時午前九時、午後一時、午後四時の四回
貸切馬車
は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで料金市內七十五錢、市外四キロ二圓五十錢一キロを增す毎に一圓增
大河原トラック部
同 乘合馬車部
平市大町 電五七六

看護婦及家政婦の御用命は
平看護婦會
平市南町 電三〇七

平市紺屋町 電話六八番
吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町 鵜沼孝昌

產科、婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
【見習看護婦入用】

構想、創意尊重
平市常會廿三日招集

八月の石城郡協力會は廿二日、平市常會は引續き廿三日何れも平市公會堂に開催するが今回の協力會議は從來の如く上意下達の形式を採らず、努めて郡市自体の構想、創意を尊重するの建前をとる方針の下に各地の水害對策と翼賛運動と一環した青壯年隊の活動を促す指導問題などが主として取上げられてゐる、尚九月十六、七兩日招集する第二回縣協力會議に上達する郡市の提出案件は各三件に限度するものと見られてゐる、尚平市常會の提出事項は常務委員會で決定する

縣指示事項

一、第二次官廳公共團体金屬特別回收に關する件（振興課）
二、學徒動員大麥增産に關する件（社會課）
三、自作農創設維持施設擴充强化に關する件
四、臨時農地管理令及臨時農地價格統制令の趣旨普及並徹底に關す件（農政課）
五、水害に因る耕地の復舊に關する件（耕地課）
六、醫療保護法實施に關する件（社會課）

盛夏急襲
水銀柱九〇度突破
各濱共行樂人で埋まる

秋に入つて既に十日……一兩日來盛夏を思はせる酷暑が急襲し水銀はグン〲上昇して九十度を突破、縣農試神谷分場の觀測に依ると昨日曜日は今年最高の暑氣で九十一度五分を示し、海に、山に、思ひ思ひの鍛錬行樂人で今夏最初の賑はひを呈した、殊に新舞子、四倉方面は萬余の家族連れが殺到し汽車バスも切符發賣中止と云ふ未曾有の賑はひであつた

◇…きのふの小名濱海岸は湯本、磐崎方面の炭礦から押寄せた家族部隊で占められとかく閑散勝ちだつた脫衣場も超滿員で濱人を驚かした、また釣日和に惠れた小名濱岸壁は數百本の釣糸が垂れ鯖、鰺などの豊漁で時ならぬ賑ひなつたが一方泉村下川海岸もバスの臨時運轉あり入山炭礦から數千人のヤマの戰士が乘込んだ

◇…〃日本百景の一〃大浦村新舞子は炭礦並に平地方からの人々で非常な賑ひを呈し四倉ー平間のバスは勿論列車も殺人的な混合ひで殊に新井田浦は萬餘の人、人、人の波、が押寄せ本夏切つての人出があり、往路の平驛と四ツ倉驛は切符の發賣中止するなど鐵道輸送陣も大混亂できのふ一日各濱共行樂人に獨占された

◇…一方閼井嶽登山者も約三、四百名に達し終日全山登山者で時ならぬ賑ひを呈した

洗濯滿艦飾
水道使用一戶五石五斗
今夏第一位

永い曇り勝ちの天氣から、カラリと晴れて照りつけた爲市內全戶は洗濯の滿艦色を呈し水道の使用量も驚く程上昇した……水道部の調査に依ると十五日の水道使用量は四千七百三十七立方米、昨十七日には四千七百九、八立方米々配水メ々が上昇、これを石數に換算すれば兩日共二萬六千石を遙かに超え、更に水道使用戶數四千七百五十五戶に割當てると一戶當り一日使用量は五石五斗に當り、風呂桶に四杯位宛の水道を使つたことに成る

水道破壞されて水饑饉に惱まされた時間給水の最低配水量は七月卅日の二千七百七十立方米、即ち一萬五千二百三十五石より使用されてゐない譯だから不自由だつたことが窺はれる然し最高使用量の半數以上だつたから飲料用水としては充分だつたことが判る

兒童の眞心

☆……平第一國民學校初等科四年の四組生桐原剛也君外四名は慰問袋一個を市役所へ寄託した

☆……平第一少年團第二十一分團（白銀町）代表深谷井亮君）では團員が毎日一錢貯金して貯めた金で慰問袋二個及び金一圓を市役所通じ陸軍恤兵部へ献納した

市長送別會
名殘りを惜しむ

平市役所吏員の靑沼前市長送別會は今十八日午後三時から公會堂日本間に開き、前市長との名殘りを惜しんだ

鐵工陣の再發足
業界の大世帶を包容し
銃後の責務愈々加重

平鐵工組合は昭和十一年結成されて以來六年名實共に東北六縣に誇る機械工業として發達の一路を辿つて來たが既報の如く時局下の重要産業部門として新業種別に依る重點主義で進むことになり鑛山機械工場並に鑄鋼業者は分離して獨立することになり、從つて殘存の平鐵工組合はやゝ骨拔きの形となつたが、統制工業一本槍の木田鐵工場主木田四郎氏を新理事長に選任 菊地、三浦、渡邊、吉野、荒木、眞柄、吉田、勿來三好の各工場とガツチリスクラム組み、鑛山機械の實績問題で全工組から締め出された佐藤源吉、河田梅吉兩大工場も居殘ることになり、更に下請工場たるべき石城郡内一圓と双葉郡廣野町に至る鐵製品、工作工場、野鍛冶まで全部包容傘下に收め數に於ては從來の何倍かの大世帶となつて銃後の鐵工陣に再出發することになつた右について木田理事長は抱負を語る

平鐵工組合から鑛山機械を專業とする大工場の離れたことは大きい痛手だ、然し銃後の鐵工業は大工場にのみ依存すべきでないことは論を俟たず、中小工場にも各々その特質があつて、この敏活な動きは銃後の産業界に大きい影響を及ぼすことになる、世帶が廣くなつただけ組合の仕事も骨が折れ、それだけ責務が重くなつた譯です

四倉署
明年新改築

四倉警察署は明治廿九年に建築されたまゝの古い廳舍で腐朽甚しく狹隘を告げてゐるため明年度に於て新改築するやう十六日新妻四倉町長出縣して縣當局へ陳情した

新築費の大部分は町及一般寄附に依つて負擔することになつてゐるから明年度豫算に反映實現するものと見られてゐる

隣組指導督勵
今日連絡員會議で指示

市役所吏員から成る隣組との連絡委員會議は今十八日午後三時から市會議事堂に開き隣組常會指導に關し次の如く活動を促した

1、九月一日の興亞奉公日實施要項に關する件
2、各區並に隣組常會指導に關する件　時間勵行の件を特に强調する
3、榮養食講習會に關する件　健康增進を圖る爲平保健所と連絡し隣組單位に榮養食講習會又は實習等開催を指導する
4、紙芝居利用に關する件　使用方法を研究の上隣組で實演する
5、國民貯蓄組合設立に關する協議

翼賛會豫算
今年度六六〇圓

大政翼賛會支部から平市支部へ配付された今年度經費は六百六十圓で市支部はこれを次の如く豫算を編成した

事務諸費	二一〇圓
事業費	四五〇圓
內	
會議費	一〇〇圓
指導費	一五〇圓
推進員指導	一〇〇圓
雜費	一〇〇圓

產報濱方部
訓練と慰安會

本縣產業報國會平支部濱方部では昨十七日小名濱校に午前中は青年体の訓練、午後一時よりは第一校講堂に於て從業員及び家族の慰安會を開催し平署長の講演、本署熊谷囑託の紙芝居、及び昭和窯業、福島モータ、吉田鐵工場、日水、小野鐵工場日素從業員より隱藝の公開があり夕刻盛會裡に慰安會を閉じた

汗の勤勞結實
隣組の功績も顯著

平上水道の復舊工事は既報の如く青壯年隊の勤勞奉仕に依つて導入管の接續を了し、完全に通水、引續き全市の區內會を單位として隣組員廿余名宛出動連日に亘つて鐵管の補强工事を進めつゝあり昨十七日導水管のセメント卷ごみ事を終へ隣組の勤勞作業は廿二日を以つて一日打切ることに成つてゐるが、二百十日から同廿日へかけて豪雨季節を迎へるのでそれまでに徹底的補强工事の完成を急がねばならず、決潰した導水管附近に高さ三米五〇延長五十四米の石垣を築造工事を急ぐことになり勞働力不足を補ふために三度全市民の協力を求めるものと見られてゐる

完納で御奉公
平税務署に滯納皆無

平税務署の納税は事變當初以來漸次滯納者が減少の傾向になりつゝあるが七月が納期であつた分類並に綜合所得税は何れも期日までに完納、またこの外同署で一番手を燒く鑛區税も順調に進んでをり本月納期にある個人營業税、地租税（田以外の地租）も納期中に納まる見込みで景氣が良いのに加へ時局認識が反影し滯納者一人もなく同署係員を喜ばしてゐる同署のはなし『事變が反影してか滯納者一人もなく大變喜ばしいことです、今後もこの緊張を續け完納で御奉公していただき度い』

家屋税有權者

來月五日行なはれる家屋税調査委員選擧の四倉町有權者數は六百八十余人ある

水の犧牲
少年水泳中溺死

磐崎村小野田炭礦坑夫荒井定次長男義春さん（一三）は姉に當る赤井村大字西小川字入屋敷江口さださん方に止宿中去る十六日午前十一時頃同大字地內夏井川で水泳中深所に入つて溺死した

口碑傳說
（2）
拔穴傳說
地底の井戶
賢沼から龍門寺へ通ず

磐城民俗研究會
石城郡誌資料

籠場の瀧

昔夏井川の上流川部村と小川村との間に江田の伴四郎といふ百萬長者があつて、瀧に大籠を掛けて魚をとつてゐた。或日誤つて腰の刀を水中に落したので歸宅後、探し出した者に褒美を與へるからとて召使の者等に探させた。この時或若者が瀧壺の中に入つて見たところが立派な部屋があつて乙女が機を織つて居り、かの無くした刀も傍にあつた。刀を貰ひ受けて歸つて見ればほんの一寸の心算だつたのに七日程も經つて居る。人々が不思議がつて問ふのであれ程口どめせられてゐたのにつひ口をすべらした。そのとたんに忽ち命が絕えてしまつた。この瀧より上には魚はのぼらないといふ。

◎五浦の鐘乳洞

五浦に鐘乳洞があつて波の寄せる音が木魂してチヤ、ポン〱といふので俗にチヤンボン沼とも呼ぶ。水戶義公が雨宮又兵衛といふ者をつれて入つて見たら鐘乳石を柱とした綺麗な部屋があつて美しい娘が機を織つて居たそして言ふには、此處は俗人の來べき所でなく來た者は命が無くなるがお前は世の中でよい事をしてゐるからとて助けられた。

◎牛淵、其他

双葉郡大堀村小丸にある牛淵にも機織姬の傳說がある。別項豐間村の賢沼にも似たやうな龍宮乙姬の傳承がある。

拔穴傳說
賢沼

豐間村沼內に賢沼といふ沼があつて畔に辨財天を祀つた堂宇がある。昔德一大師がこの沼で千日の垢離をとつて三月十五日の曉觀音を拜した處、又坂上田村麻呂が賊將高丸退治の祈願をこめたところといはれる。昔田中助太夫といふ者があつて鐵砲で沼の眞鴨をうつたが仲々岸に寄つて來ない。泳いで取らうと水中に飛込んだところ水が身體にねばりついて動けず、漸々のことで岸にはひ上ることを得た。今に魚を取る者は無いから鰻も鯉も大きくなり放題である。この沼は荒川の龍門寺の井戶にも、草野村の濁沼にも、夏井川上流の白淵にも飯野村の八穴の井にもつゞいてゐるといひ又夏井の修善寺の井にも續いてゐるといひ傳へる。昔修善寺の住職が誤つて井戶に落ちたがやがてこの辨財天の沼に出た。爾して蛇體となり長く此處にとゞまることゝなつたが、辨天參詣の夏井の人々を見ればなつかしがつて沼に引入れるといふ。この沼の傳說は色々の要素をふくんでゐるが龍宮乙姬傳說とも關係をもつてゐる。昔この沼向の山で沼內の人が木を伐つてゐる中斧を水中に落し取らうとして沼に入れば水中には綺麗な御殿があつた。乙姬に引きとめられて三日目に歸宅したが知らぬ間に三年の月日が流れてゐた。乙姬は辨天樣とわかり沼の畔に堂を建てゝ祀つた。

濱三郡下
額緣工組
總會で役員選任

濱三郡額緣商工組合創立總會は去る十四日午後一時から平市マルトモホールに開き役員を次の如く選任した

△組合長、平大竹額緣店△副組合長、平澤田額緣店、同平吉村ガラス店△理事、平長谷川書店、同湯本寶木額緣店、同好間江島額緣店、同小名濱ほまれ家具店、同久之濱白土家具店、相馬未定△監事、平松崎ガラス店、同平岡崎商店

文藝銃後運動
廿六日講演と座談會
知名之士來平

文藝銃後運動近縣班は廿五日來平の豫定であつたが都合に依り廿六日と變更した旨磐城文協宛通知があつた一行は土浦、日立の二箇所で講演し廿六日午前十一時三分平着同夜七時から市公會堂で講演をする事になつてゐた、文協では講演會に先立ち午後二時半から常陽銀行樓上に歡迎座談會を催す事になり目下準備中であるが會友以外の一般希望者の出席も歡迎する、尚來平する齊藤瀏、木々高太郎、高田三保氏略歷次の如し

◇高田保氏、茨城縣の人、早大出身の小說家として有名で著書として戲曲「人魂黃表紙」がある

◇齊藤瀏氏、陸軍少將、歌人として有名であり二・二六事件に入獄その「獄中記」は先般本紙新刊紹介に紹介した事がある長野縣の出身。歌集「曠野」「波濤」等がある

◇木々高太郎氏、山梨縣の産、探偵小說家として「網膜脈視症」「迷走神經」の他直木賞を貰つた「人生の阿呆」等の著書がある、著書の題が示す通り本職は慶大醫學部教授であり學位も持つて居る、林が本姓である

役場廢止
毎日臨時事務取扱
吏員は町役場へ收容

玉川村役場廢止に依り小名濱町役場では舊村民の便益上舊玉川村役場に毎日午後一時より四時迄出張事務を張り配給並に徵税事務を採る事に決定した

尚玉川村の小名濱合併に依り宮內村長、駒木根助役、高萩收入役は自然解消となり町役場に奉職の模樣もなく吏員四名は何れも小名濱町役場に勤務する事になり遠藤完雄氏は學務課丹野作平氏は財務課鈴木好文氏は戶籍課小泉フクさんは財務課と夫々持場も決定を見、且つ新奉職者として小林仁平氏財務課、佐久間ツネさんは産業課に勤務する事となつた

チブス續發
冷菓と果物に注意

暑さが急激にやつて來たのでキャンデーなど冷菓子や未熟の果物を食し胃腸傷害を犯されてゐるもの非常に多く傳染病も日毎に多く十七日にはチブスが左の如く一時に三名も發生してゐる狀態なので市衛生課では全市民へ食物に注意するやう衛生思想の普及に注意を喚起することになつた

◇……平市禰宜町廿二立川ハルヱ（一九）
◇……平市三丁目山本善治（一七）
◇……平市材木町和田アヤ子（二三）

田町暗渠
南側竣工

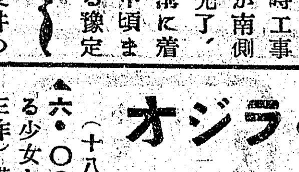
市內大田町市役所前通りの兩側溝暗渠工事は過般の水害で一時工事を中止してゐたが南側下水溝は漸やく完了、今度は北側の側溝に着手する筈で來月中頃までに全部竣成する豫定

鄕軍武術
古河炭礦綜合優勝

鄕軍石城聯合分會の第十三回武術大會は昨十七日午前八時から神谷村東部實彈射擊場で擧行結果次の如く總得點に於て古河炭礦分會で優勝した

【銃劍術】△將校1齊藤眞八中尉（飯野）△下士1鈴木一治伍長（勿來）△兵士1永山高雄上等兵（豐間）△（補充兵）1阿部巖長（夏井）△海軍1鈴木七郎三兵曹（小名濱）
【軍刀術】既敎育1後藤五郎（古河岩炭）△未敎育1渡邊一郎（湯本）
【射擊】既敎育1江尻庄一郎（飯野）△未敎育1國井充（湯本）
【綜合得點】優勝古河炭礦分會2磐城炭礦分會3四倉分會

今晚のラジオ



（十八日夜の部）

▲六・〇〇「海に生きる少女たち」（松島慶三作）橫須賀海洋少女團△シンブン
▲六・三〇（AK）ほがらか日記「舟生活の子供達」（小出正吾作）長濱藤夫、高津慶子、外（HK）「職場の夏」菅原乘男、佐々木松三郎
▲七・二〇 ラジオ國民讀本「進む北支那の建設」
▲七・三〇 現地訪問（錄音）（ ）「全國一の貯蓄村」富山縣東礪波郡柳瀬村（二）「模範村の增産報國」富山縣婦負郡熊野村
▲七・五〇 防空讀本「防空と國民の心得」西廣內務省防空課長
▲八・〇〇 長唄「八犬傳」（下の卷）松永和風、杵屋勝太郎外
▲八・二五 音の鄕土めぐり
▲八・三〇 講談「大橋茂右衛門」神田ろ山
▲九・〇〇 時局談話「興亞の聖業（一）」大倉邦彥

國債賣出し
四倉局割當決る

二十二日から九月二日まで各郵便局で賣出される支那事變國債の四倉郵便局割當額は一萬九千九百五十圓で內譯次の如し

△十圓券百枚△二十圓券六十枚△二十五圓券十枚△五十圓券十枚△百圓券二十枚△五百圓券十枚△千圓券十枚

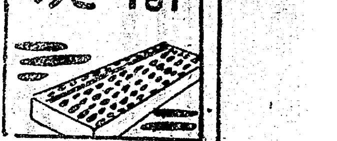
平市慶弔錄

【婚姻】△平市杉平十九番地木谷畑源次さん（三二）と千葉縣夷陽郡中川村行川二百六十四番地福島滿津さん（二四）△平市古鍛冶町九十二番地小谷サヤ（二三）さんと東京市澁谷區幡ケ谷二丁目磯野馨（三二）さん

【出生】△平市田町五十四番地小松兼吉二女杏子さん△平市古鍛冶町百七番地柳內悅巖四男務さん△平市大工町十七番地丹野勝美三男篤さん△平市新川町二十四番地松崎留藏二女成子さん

【死亡】▲平市大字中平窪字高儘二十九番地桐田トメ子（三二）さん▲平市字白銀町十一番地新妻定吉（七一）さん▲平市字田町六十六番地酒井トクさん（七三）

商況



（十八日）

【野菜】小賣值百匁
ナス　五、錢
キウリ　六、錢
【鮮魚】小賣值
メヌキ　一九、〇
スズキ　七五、〇〇
ブリ　四三、〇

天氣豫報

今晚　北西の風 時々晴れ曇り模樣
明日　北西の風同じ
（十九日）
滿潮　前……　後二、二〇
干潮　前八、三〇　後八、三五

證券報國
公債 社債 株式 賣買
商工省免許
磐新證券商會
平市白銀町九番地
電話七八六番

石炭小賣
迅速 誠實
多少ニ拘ズ御用命願ヒマス
磐新石炭店
平市白銀町九番地
電話七八六番
電話七八七番

運轉手 至急募集
高給デ優遇ス
委細面談
希望者ハ左記ヘ申込マレタシ
大和炭礦營業所
平市仲町十四番地
電話六〇三番

見習女工募集
高卒程度
年齡十五、六才
【希望者ハ本人來社アレ】
磐城毎日新聞社

國旗、優勝旗
各種豊富に揃つて居ます
御用は
大塚へ
平市田町銀座通
電話七十七番

大塚の―
靴と運動具、樂器
自製靴各種
野球用具 庭球用具 競技用具 卓球用具 登山用具 体育用具
各種運動服裝
ハーモニカ
手風琴